

●昔の情景● 民俗学者 宮本常一と三原

みやもとつねいち



これはな、昭和30年ごろの三原城跡の写真じゃ。



▲三原駅のホームから撮影された三原城跡 (周防大島町提供)



今と違うから分かりませんでした。



宮本常一という人が撮影したんじゃ。宮本さんは、全国各地を調査して回った有名な民俗学者じゃよ。



それはどういう本ですか？



▲宮本常一さん



民俗学ってなんですか？



民俗学は、人々の間で受け継がれてきた風習や生活様式、言語などを記録し、その移り変わりを明らかにする学問じゃよ。宮本さんは三原でも調査を行なっておって、『三原市史』という本を作ったときには、一部を書いてくれたんじゃ。



三原の土地や人、歴史についてまとめている本で、図書館でも読めるんじゃよ。



昔の三原の生活を知ることができるとですね。



宮本さんの撮った写真は現在も残っておって、今年の1月にその写真を展示するパネル展が行われ、大盛況だったんじゃ。



おじいちゃんに行きました。おじいちゃん、「なつかしい」って言っていました。



約40年前に撮影された、タコつぼや神社、郵便局、漁港などの写真が並んでおったじゃろう。40年もたてばま



この風景は変わるからのおう。駅前立つ1本の松の写真もありました。



それは、鈴木方衛なみえの松じゃな。昔、鈴木方衛という有能な武士が登ったと伝えられる松じゃよ。今はもう伐採されてないんじゃが。



▲鈴木方衛の松 (周防大島町提供)



宮本さんは、当時の三原の魅力をたくさん記録してくれたんですね。